



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月6日

上場会社名 太陽化学株式会社

上場取引所 名

コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当兼業務支援部長兼企業統括部長 (氏名) 増川 尚利

TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 平成30年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	10,205	5.2	1,244	24.2	1,229	18.8	836	22.6
30年3月期第1四半期	9,697	3.6	1,001	27.1	1,035	135.7	682	138.9

(注)包括利益 31年3月期第1四半期 960百万円 (5.3%) 30年3月期第1四半期 1,013百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	45.59	
30年3月期第1四半期	37.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	48,989	38,131	75.4
30年3月期	48,301	37,784	75.9

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 36,955百万円 30年3月期 36,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		10.00		33.00	43.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		10.00		33.00	43.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	5.5	2,000	2.7	2,000	0.9	1,350	1.0	73.59
通期	41,000	6.0	3,900	2.6	3,900	2.3	2,600	0.6	141.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	23,513,701 株	30年3月期	23,513,701 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年3月期1Q	5,168,658 株	30年3月期	5,168,628 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	18,345,046 株	30年3月期1Q	18,345,469 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用・所得環境の着実な改善により、緩やかな回復基調で推移しました。一方海外は、米国政権の貿易摩擦の懸念等不安定な政策運営及び近隣諸国の地政学リスクの不確実性などの国際情勢のなか、日本経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、根強い節約志向の継続により、企業を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、102億5百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。

営業利益は、化粧品・トイレタリー用途の乳化剤及びサプリメント用途の機能性食品素材の売上が増加したこと等により12億44万円（前年同四半期比24.2%増）となりました。経常利益は、12億29百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億36百万円（前年同四半期比22.6%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内市場の医療用途、飲料用途及び欧米市場の医療用途、サプリメント用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

カテキンは、国内市場、アジア市場及び欧米市場のサプリメント用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

ミネラル製剤は、欧州市場は減少しましたが、国内市場が堅調に推移し、米国市場、アジア市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

テアニンは、国内市場は堅調に推移しましたが、米国市場のサプリメント用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

ビタミン製剤は、国内市場の飲料用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、18億87百万円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益は、4億68百万円（前年同四半期比35.2%増）となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。

化粧品、トイレタリー用途は、国内市場及び海外市場で大幅に増加し、飲料用途は国内市場が増加しました。

一般食品用途は国内市場で前年並みに推移しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、25億29百万円（前年同四半期比20.7%増）、営業利益は、5億4百万円（前年同四半期比29.7%増）となりました。

■ アグリフード事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、国内市場のハム・ソーセージ用途等の粉末卵が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

即席食品用素材は、国内市場の即席めん用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

フルーツ加工品は、国内市場の冷菓用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

安定剤は、国内市場の製めん用途は減少しましたが、惣菜用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、57億56百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益は、2億64百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行なっております。

売上高は、31百万円（前年同四半期比22.5%減）、営業利益は、7百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して6億88百万円増加して、489億89百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加8億49百万円、商品及び製品の増加3億8百万円、土地の増加14億92百万円、投資その他の資産の投資有価証券の増加1億13百万円、現金及び預金の減少17億18百万円、流動資産のその他の減少1億46百万円、有形固定資産のその他の減少2億29百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比較して3億40百万円増加して108億57百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加5億7百万円、流動負債のその他の増加1億39百万円、未払法人税等の減少2億89百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して3億47百万円増加して381億31百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益8億36百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加1億15百万円、配当金の支払による減少6億5百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の75.9%から75.4%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,116,082	7,397,605
受取手形及び売掛金	10,890,547	11,739,551
商品及び製品	3,377,015	3,685,587
仕掛品	384,658	363,962
原材料及び貯蔵品	1,892,575	1,929,752
その他	892,386	745,856
貸倒引当金	△31,071	△33,925
流動資産合計	26,522,194	25,828,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,143,591	5,168,093
土地	6,788,449	8,280,758
その他(純額)	2,551,431	2,321,767
有形固定資産合計	14,483,471	15,770,619
無形固定資産		
のれん	12,608	8,545
その他	202,710	195,250
無形固定資産合計	215,319	203,795
投資その他の資産		
投資有価証券	4,864,117	4,977,693
その他	2,229,011	2,221,667
貸倒引当金	△12,950	△12,950
投資その他の資産合計	7,080,179	7,186,410
固定資産合計	21,778,970	23,160,825
資産合計	48,301,164	48,989,215

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成30年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,737,358	7,244,381
未払法人税等	611,784	322,019
賞与引当金	236,109	150,031
その他	1,825,312	1,965,032
流動負債合計	9,410,566	9,681,465
固定負債		
退職給付に係る負債	215,533	216,787
役員退職慰労引当金	399,829	399,829
その他	490,816	559,427
固定負債合計	1,106,178	1,176,043
負債合計	10,516,745	10,857,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,674	7,918,674
利益剰余金	23,712,492	23,936,208
自己株式	△4,613,233	△4,613,286
株主資本合計	34,748,554	34,972,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,808,584	1,924,482
繰延ヘッジ損益	△17,647	△13,601
為替換算調整勘定	150,446	110,168
退職給付に係る調整累計額	△40,905	△37,843
その他の包括利益累計額合計	1,900,477	1,983,206
非支配株主持分	1,135,386	1,176,282
純資産合計	37,784,419	38,131,706
負債純資産合計	48,301,164	48,989,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 6 月 30 日)
売上高	9,697,876	10,205,189
売上原価	7,194,154	7,389,714
売上総利益	2,503,721	2,815,475
販売費及び一般管理費	1,501,873	1,571,249
営業利益	1,001,848	1,244,226
営業外収益		
受取利息	7,089	12,153
受取配当金	18,053	21,013
持分法による投資利益	10,559	—
その他	26,483	11,256
営業外収益合計	62,187	44,422
営業外費用		
支払利息	3,050	1,185
貸与資産減価償却費	2,128	1,891
為替差損	11,267	20,836
持分法による投資損失	—	30,703
その他	12,044	4,168
営業外費用合計	28,490	58,786
経常利益	1,035,544	1,229,862
特別利益		
投資有価証券売却益	—	50,920
特別利益合計	—	50,920
特別損失		
固定資産除売却損	1,421	8,100
投資有価証券評価損	1,000	—
特別損失合計	2,421	8,100
税金等調整前四半期純利益	1,033,123	1,272,682
法人税等	321,473	374,976
四半期純利益	711,649	897,706
非支配株主に帰属する四半期純利益	29,243	61,416
親会社株主に帰属する四半期純利益	682,406	836,289

(四半期連結包括利益計算書)
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 6 月 30 日)
四半期純利益	711,649	897,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	261,817	116,749
為替換算調整勘定	40,768	△60,175
退職給付に係る調整額	4,191	3,061
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,642	2,686
その他の包括利益合計	302,135	62,322
四半期包括利益	1,013,785	960,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	970,787	919,018
非支配株主に係る四半期包括利益	42,997	41,010

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,773,418	2,095,935	5,788,175	9,657,529	40,347	9,697,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,773,418	2,095,935	5,788,175	9,657,529	40,347	9,697,876
セグメント利益	346,512	388,924	258,519	993,957	7,891	1,001,848

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 6 月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,887,963	2,529,513	5,756,445	10,173,922	31,266	10,205,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,887,963	2,529,513	5,756,445	10,173,922	31,266	10,205,189
セグメント利益	468,494	504,570	264,019	1,237,083	7,142	1,244,226

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。